

○水生生物モニタリング調査結果一覧（相馬市沖L）

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目			放射性物質分析項目		
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
L-1	○	○	○	○	○	○
L-2	○	○	○	○	○	○
L-3	○	○	○	○	○	○

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時		水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)	
L-1	37.8211°	140.9608°	H26. 12. 10	—	9:48	—	10.0	砂混シルト	10Y3/2	貝殻片	—	—	
L-2	37.8155°	140.9764°		9:03	9:15	10.9	10.9	細砂	5Y3/2	貝殻片	1.7	1.7(着底)	
L-3	37.8217°	140.9765°		8:29	9:35	10.3	10.0	細砂	5Y3/1	貝殻片	1.6	1.6(着底)	

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
L-2	37.8155°	140.9764°	H26. 12. 10	9:03	8.1	<0.5	1.3	9.0	5,090	32.51	<1	2	0.7	0.0044	0.014	0.0011
L-3	37.8217°	140.9765°		8:29	8.1	<0.5	1.6	9.1	5,110	32.62	1	4	1.5	0.0055	0.017	—

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _h (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
L-1	37.8211°	140.9608°	H26. 12. 10	9:48	7.5	64	39.6	5.1	10.4	2.668	0.9	0.9	6.5	46.1	17.7	27.9	0.098	4.75	65	230	—
L-2	37.8155°	140.9764°		9:15	7.6	184	19.9	1.0	0.9	2.737	0.0	0.7	58.8	36.6	0.1	3.8	0.27	2	2.6	8.9	N. D. (0.19)
L-3	37.8217°	140.9765°		9:35	7.9	84	21.0	1.3	1.1	2.731	0.0	0.8	54.6	38.9	1.8	3.9	0.27	2	5.4	17	—

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	種名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			Cs-134 (Bq/kg-wet)	Cs-137 (Bq/kg-wet)	Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		成長段階	胃内容物										測定部位						
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8211° 37.8155° 37.8217°	140.9608° 140.9764° 140.9765°	H26. 12. 10	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	相当数	0.013	—	—	—	2.9	9.4	—	
					被子植物	単子葉植物	イノテ	アマモ	<i>Zostera marina</i>	アマモ	相当数	0.28	—	—	—	N. D. (0.36)	N. D. (0.32)	—	
					緑藻植物	ワサ藻	ワサ	アナアオサ	<i>Ulva pertusa</i>	アナアオサ	相当数	0.32	—	—	—	0.33	0.47	—	
					節足動物	軟甲	アミ	アミ	<i>Neomysis intermedia</i>	イサザアミ	相当数	0.059	成体	—	—	—	N. D. (0.68)	1.6	—
					節足動物	軟甲	十脚	テボウエビ	<i>Alpheus brevirostratus</i>	テッポウエビ科	12	0.012	成体	—	—	—	N. D. (2.9)	3.1	—
					節足動物	軟甲	十脚	テナガエビ	Palaemonidae	テナガエビ属	102	0.047	成体	—	—	—	N. D. (0.85)	1.5	—
					節足動物	軟甲	十脚	ヘビエビ	<i>Hemigrapsus</i> sp.	イソガニ属	210	0.37	成体	—	—	—	2.5	8.1	—
					環形動物	多毛	セシバゴカイ	ゴカイ	<i>Hediste</i> sp.	カワゴカイ属	83	0.034	成体	—	—	—	7.4	22	—
					軟体動物	二枚貝	マガキ	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ	76	4.9	成体	—	—	—	0.45	2.0	—
					軟体動物	二枚貝	アサリ	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	79	2.3	成体	—	—	—	0.67	1.2	—
					脊椎動物	硬骨魚	タケギンボ	タケギンボ	<i>Pholis crassispina</i>	タケギンボ	12	0.031	成魚	—	—	—	N. D. (2.1)	N. D. (1.7)	—
					脊椎動物	硬骨魚	マハゼ	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ	3	0.26	成魚	—	—	—	1.1	3.3	—
					脊椎動物	硬骨魚	ボラ	ボラ	<i>Mugil cephalus</i>	ボラ	1	0.023	未成魚	—	—	—	5.2	15	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：成長段階の赤字記載は、鱗または耳石による年齢推定の結果を示す。

※6：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※7：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落とししたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※8：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※9：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。